【樹木の部屋】

ツバキ（ツバキ科ツバキ属　Camellia japonica ）

和名：ツバキ(椿、海柘榴)　別名：ヤブツバキ(藪椿)　英名：Common　Camellia

ツツジ目　常緑高木　　原産地：日本、中国

花言葉：控えめな優しさ、誇り　　花の色：　赤、桃、白、複色

← 写真-１　ツバキ～沖の石
撮影日：2013 年 04 月 01 日
撮影場所：椿寿庵(大和郡山市)にて
撮影者：M　さん

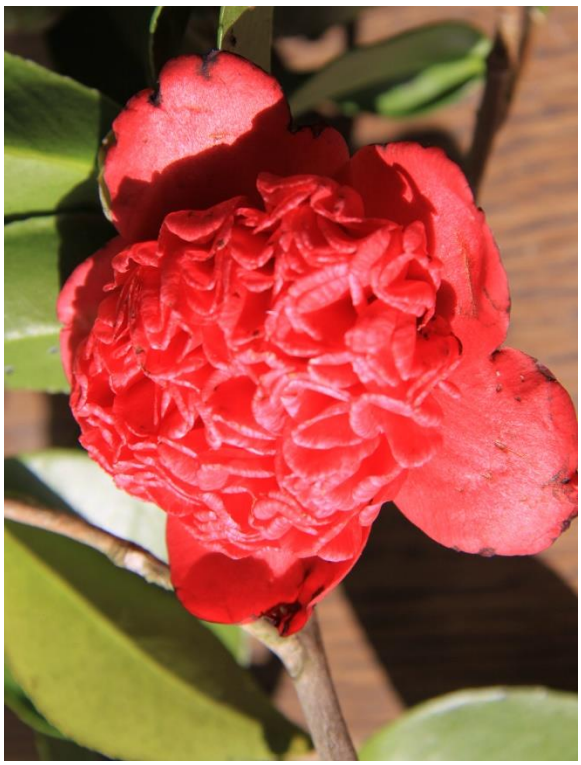
→ 写真-２　ツバキ～懸裳(かけも)
撮影日：2013 年 04 月 01 日
撮影場所：椿寿庵
(大和郡山市)にて
撮影者：M　さん

← 写真-３　ツバキ～ルナエンシス
撮影日：2013 年 04 月 01 日
撮影場所：椿寿庵(大和郡山市)にて
撮影者：M　さん

← 写真-４　ツバキ～都鳥
撮影日：2013 年 04 月 01 日
撮影場所：椿寿庵(大和郡山市)にて
撮影者：Ｍ　さん

→ 写真-５　ツバキ～白六角
撮影日：2013 年 04 月 01 日
撮影場所：椿寿庵
(大和郡山市)にて
撮影者：Ｍ　さん

← 写真-６　ツバキ～姫白雪
撮影日：2013 年 04 月 01 日
撮影場所：椿寿庵
(大和郡山市)にて
撮影者：Ｍ　さん



→ 写真-７　ツバキ～紅荒獅子
撮影日：2016 年 02 月 18 日
撮影場所：Ｍ　邸
(大和郡山市)にて
撮影者：Ｍ　さん

大和郡山市郊外にある椿寿庵を訪れた際、撮影しました。たしかTVで紹介されているのを見て、すぐ近くに、こんなところがあるのだと知り、衝動的に出かけました。

写真-１～写真-６は、椿寿庵で、写真-７は、我が家で咲きました。かなり特徴のある花弁で、この花、ツバキ？と・・。葉はやはりツバキでした。

一言でツバキと言っても、非常に多くの園芸品種があり、個別の名前を特定するには、一苦労です。

＜ ちょっと一言 ＞

ツバキとサザンカの違いですが・・。

ツバキ（狭義のツバキ、ヤブツバキ）とサザンカはよく似ていますが、次のことに着目すると見分けることができるそうです。ただし、原種は見分けやすいが、園芸品種は多様性に富むので見分けにくい場合があるそうです。

・ツバキは花弁が、萼と雌蘂だけを木に残して丸ごと落ち(花弁がばらばらに散る園芸品種もある)、サザンカは花弁が個々に散る。
・ツバキは雄蕊の花糸が下半分ほどくっついているが、サザンカは花糸がくっつかない。
・ツバキは、花は完全には平開しない(カップ状のことも多い)。サザンカは、ほとんど完全に平開する。
・ツバキの子房には毛がなく(ワビスケには子房に毛があるものもある)、サザンカ(カンツバキ・ハルサザンカを含む)の子房には毛がある。
・ツバキは葉柄に毛が生えず(ユキツバキの葉柄には毛がある)、サザンカは葉柄に毛が生える。